

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科			看護学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義	
科 目 名			疾病論Ⅲ（脳神経外科・脳神経内科膠原病・運動器）		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30（1）時間(単位)
対 象 学 年			2年次		学期及び曜時限	前期	教室名	視聴覚室・講堂
担 当 教 員			神原 瑞樹 渡邊 達三 他	実務経験と その関連資格	島根大学医学部附属病院 脳神経外科学講座 島根県環境保健公社			
《授業科目における学習内容》								
人間の基本的な機能である、造血機能・消化機能・内分泌機能が障害された状態の診断、検査、症状、治療、処置等について学び疾患理解の基礎をつくる								
《成績評価の方法と基準》								
出席並びに課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
系統看護学講座 脳・神経 医学書院 系統看護学講座 運動器 医学書院								
《授業外における学習方法》								
テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。								
《履修に当たっての留意点》								
授業の方法			内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害について説明できる。			テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。	
		各コマにおける授業予定	疾患の理解:脳血管障害					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳腫瘍について説明できる。			テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。	
		各コマにおける授業予定	疾患の理解:脳腫瘍					
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭部外傷 脳脊髄液(髄液)の異常について説明することができる			テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。	
		各コマにおける授業予定	疾患の理解:頭部外傷 脳脊髄液(髄液)の異常					
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄血管障害 脊髄炎 脊髄腫瘍について説明することができる			テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。	
		各コマにおける授業予定	疾患の理解:脊髄血管障害 脊髄炎 脊髄腫瘍					
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経障害、筋疾患・神経筋接合部疾患について説明することができる			テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。	
		各コマにおける授業予定	末梢神経障害 筋疾患・神経筋接合部疾患					

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	脱髄・変性疾患、脳・神経系の感染症について説明することができる	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	①脱髄・変性疾患		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	脱髄・変性疾患、脳・神経系の感染症について説明することができる	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	②脳・神経系の感染症(脳炎・髄膜炎、脳腫瘍、プリオン感染症、クロイツフェルト・ヤコブ病 など)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	中毒、てんかんについて説明することができる	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	中毒 てんかん		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症について説明することができる	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	認知症		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	内科疾患に伴う神経疾患、膠原病について説明することができる	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	内科疾患に伴う神経疾患 膠原病		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨折・脱臼・捻挫および打撲について説明することができる	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	1骨折 2脱臼 3捻挫および打撲		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経の損傷、筋・腱・靱帯などの損傷、区画(コンパートメント)症候群について説明することができる	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	4神経の損傷 5筋・腱・靱帯などの損傷 6区画(コンパートメント)症候群		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	先天性疾患、骨・関節の炎症性疾患、骨腫瘍および軟部腫瘍について説明することができる	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	7先天性疾患 8骨・関節の炎症性疾患 9骨腫瘍および軟部腫瘍		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	代謝性骨疾患、腱の疾患、神経・筋疾患について説明することができる	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	10代謝性骨疾患 11腱の疾患 12神経・筋疾患		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	ロコモティブシンドロームと運動器不安定症・フレイル・サルコペニア・廃用症候群について説明することができる	テキスト AV機器	テキストを読んで予習・復習をする。授業内容をまとめる。
		各コマにおける授業予定	13上肢および上肢帯の疾患 14下肢および下肢帯の疾患 15ロコモティブシンドロームと運動器不安定症・フレイル・サルコペニア・廃用症候群		